2021.６.25

関東学院六浦中学校・高等学校紹介

関東学院六浦中学校・高等学校は、横浜市金沢区の大変風光明媚な金沢八景にキャンパスがあり、京浜急行金沢八景駅から徒歩で15分、無料スクールバスではわずか5分の距離です。系列の関東学院大学とは同じ敷地内に校舎を持ち、すばらしい教育環境の中で学ぶことのできる学校です。学校法人としての関東学院は、認定こども園から大学院までを有する総合教育機関であります。

現環境大臣の小泉進次郎氏やその兄の俳優である小泉孝太郎氏も関東学院六浦高校の出身です。ちなみに女子ラグビー部は昨年度の高校女子ラグビー選手権では全国優勝を果たしており、大学ラグビー部もまた強豪で、先のラグビーワールドカップの代表メンバーの一人で、笑わない男として人気を博した稲垣選手も関東学院大学の出身です。

横浜市に立地する神奈川県内の一私学でありましたので、これまでは県内からの通学生のみが在籍する中学校・高等学校であったのですが、本年度からそれまでキャンパスに隣接する場所にあった大学生用の寮を高校が譲り受け、収容人数186名で、1学年約60名までの寮生を受け入れることが可能となりました。

元々学校としてはグローバル化教育を学校の根幹と考えており、国際社会で将来活躍をするためには、英語運用力に加えさまざまな課題を自ら考え解決する能力、またそれを支えるコミュニケーション力が欠かせないと捉え、それに対応する教育に力を注いで来ておりました。こんな点に興味を示す首都圏出身の海外帰国生や、また留学生も近年増加しており、そうした生徒を受け入れるためにこの国際寮を設け受け入れ態勢を整えました。

そのため今年度からは、通学圏でなかった神奈川県以外の国内地域からも入学希望者を受けいれることが可能となりました。東京や横浜の都心部にある高校で、これだけ大規模な生徒寮を持っている寮制学校は、他にはあまり無いのではと思います。

寮の部屋は完全個室、男女フロアー別、寮内は全てICチップ入りのセキュリティーキーで管理されており、非常に安心・安全です。また寮内での学習支援の一環として、今年正規に仙台の女子高校を卒業して、大学受験に合格し横浜市立大の国際教養学部に入学した、バルト三国出身のエストニア人の女子大生が、寮のレジデントアシスタントとして、寮生の英語の家庭教師、及び留学生の日本語指導講師として寮に住み込んで、高校生達と一緒に生活を開始しております。

英語教育を強化し、同時に寮生活において生の国際交流体験を持てるという環境に興味を持たれる生徒さん達が、今後世界中から帰国生と留学生として集まって参ります。そこに海外のみならず全国広域からもぜひ優秀な生徒には入学いただきたいと考え、新たな生徒募集活動に取り掛かっております。

現在6カ国から9名の英語ネイティブ教員を学内には揃え、関東学院六浦中高は、10年後、20年後の社会を見据えて、未来へとつながる多彩なプログラムを提供しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。